

まんすりー 全旅連情報

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789

発行日：平成30年9月1日 定価：150円 発行人：清澤正人 印刷：山陽印刷株式会社

9月号 2018

Vol.271



「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

全旅連シルバースター部会総代会開催	1
第2回全旅連正副会長会議開催／	3
7月西日本豪雨後の全旅連の活動について	
全旅連委員会開催	4

全旅連女性経営者の会 (JKK) 定例会議	5
第21回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介	6
全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	7
全旅連協定商社会名簿	8

全旅連シルバースター部会総代会開催 研修会(講演会)は「パラリンピックムーブメントとは」

「HACCPによる衛生管理の取組み」 事業計画の軸にし手引書作成へ



あいさつする中村シルバースター部会長

全旅連シルバースター部会(中村実彦部会長)は6月22日、東京・千代田区の砂防会館で平成30年度総代会を開き、承認された事業計画では、食品衛生法等の一部を改正する法律が公布されたことから始まるHACCP(ハサップ)による衛生管理への取組みを軸に据えていくことになった。

冒頭、多田会長は「シルバースター部会はどうやって人に優しい宿を提供できるかという主旨で事業に取組み、様々なビジネスモデルを構築してきたが、今や、観光立国実現に向けて国と一体となってその推進に努めていくことが明確化されており、今後の部会の活動にもさらに大きな期待が寄せられることになった。みなさんの英知を結集することで、十分な活躍を進めてほしい」と述べ、また、厚生労働省の大塚憲孝課長補佐は「高齢者や訪日外国人が増加する中、『人に優しい宿』をコンセプトに掲げお客さまの安心安全、さらには、やすらぎといったニーズに応えるシルバースターの認定を受けた旅館ホテルの重要性はますます高まっており、厚生労働省は、引き続き、融資や税制面でできる限り応援していく所存だ」と述べた。

中村部会長はあいさつの中で現在、国交省で進められている「ホテル又は旅館のバリアフリー客室基準の見直し」について触れ、「現行は『客室の数が50室以上の場



全国47都道府県の地区委員出席のもと進められた平成30年度総代会



あいさつする多田会長と厚生労働省の大塚課長補佐

関係会社報告でのSYS楽天UBMジャパンのみなさん

展示されたロースタイルマッサージチェア

合は、1以上の車いす使用者用客室を設ける』としているものを増やしていくという改正案が示されているのだが、現在、その検討会(現時点で4回実施)には私も委員として出席しているが、オリンピックの終了後どうなるかといった課題もあり、今後も宿泊施設側の立場としてしっかりとした意見を述べていく考えだ」と述べた。

議事では、「ヘルスツーリズム」にも本格的に取り組んだ平成29年度シルバースター部会事業報告と平成30年度事業計画案並びに収支予算案を承認した。事業計画は、集客事業の中で、新たに「HACCP(ハサップ)による衛生管理の取組み」を挙げている。食品衛生等の一部を改正する法律が公布(6月13日)され、HACCPによる衛生管理がこれから始まるが、原則として、すべての食品等事業者に、一般管理に加え、HACCPに沿った衛生管理の実施を求めていくことになる。ただし規模や業種等を考慮した一定の営業者については、取り扱う食品の特性等に応じた衛生管理とするとしており、全旅連はHACCPの考え方を取り入れた衛生管理をまとめたうえで、旅館・ホテル向けの手引書を作成し、全組合員に配布していくことを決めた。

関係会社における事業展開についての報告では、ホテル・旅館の直販予約を支援している(株)エス・ワイ・エスから「事業計画での集客事業で進めているシルバースターの認知度を上げ、さらに登録施設への送客

平昌パラでメダル5個の村岡さんが講演 苦悩、葛藤、努力、そして栄光へ

限界に挑戦し続けるパラリンピアン
「過去の自分に1番を取れる日があるんだよと伝えたい」



講演する村岡さん

シルバースター部会総代会で行われた研修会は、平昌パラリンピックで大回転の金メダルを含み、出場5種目すべてでメダルを獲得した村岡桃佳さん(21)による講演。「パラリンピックムーブメントとは」がテーマ。村岡さんは早稲田大学スポーツ科学部の4年生。4歳の時の病気で車椅子の生活となったが、小学3年生の時にチェアスキーに出会い、中学2年生の時には競技スキーへの誘いを受けてアルペンスキー競技に打ち込むようになった。

◇村岡さんは、基準を満たすために行った海外での生活から帰国してからのソチパラリンピックまでの1年間は苦悩と葛藤の日々であったと振り返る。やがて、念願のソチパラリンピックに出場することができたが、成績は振るわず、「次こそは必ず表彰台に上ってみせる」と自分に誓う。そして迎えた平昌だが、4年に1回ということの大きさが一気にのしかかって来たという。さらには、2日に1回というレース展開で体力的にも限界ではあったが、「金」を狙うのは大回転しかなく、「やるしかない」の言葉を自分に投げ続けたという。結果は金メダルを見事に手中にした。その時の様子はスクリーン上の映像(中村氏が編集)によって紹介されたが、村岡さんは表彰のあと、マスコミのインタビューに答えて「引きこもっていた過去の自分に1番を取れる日が来るんだよと伝えたい」と語っており、そこには、自分に打ち克ったという喜びに溢れる顔があった。

◇講演では日常のエピソードについても触れ、いろいろ感じたことを語ってくれた。「海外で雪山の車

講演会は、中村部会長が平昌で行われたパラリンピックにアルペンスキー競技の監督として参加したこともあつて、頼を受けての講演となった。講演は中村氏の質問に答える形で進められた。



「全旅連様へ」と書かれた村岡桃佳さんからのサイン色紙

椅子移動はそれは大変でしたが、そんな時全く知らない人が後ろから押してくれました。それは、手伝ってあげるといえるのではなく手伝うのが当たり前といった感じなのです。自然な行動としてやってくれているということ。そんな時の健常者も障害者も一緒に生きているという空気感が嬉しかったです。そういえば、海外では街で障害者を見掛ける率が本当に高いです。それは障害者が外に出たいという気持ちからかもしれないが、そういった空気感があるからだと思います。健常者と障害者の距離感が実に近いと感じました」と述べている。また、障害者に対する宿泊施設に対してもいくつかの提案があった。「車椅子が動けるスペースは十分あったとしてもバスタオルなどが高い棚に置いてあったりして不便を感じています。またシャワー室のノズルの位置もわかりずです。シャワー室はドアではなくカーテンがいいです。風呂場での手摺りやスベリ止めのマットの設置はとてもありがたいです」

◇4年後の北京パラリンピックに向けた意気込みについては、「最近、『追う立場から追われる立場になってどうですか』といった言葉を掛けられますが、私自身、結果に甘んずることなく常に追う立場にあると思っています。なぜなら、それは自分との戦いでもあるからです」と答えてくれた。

◇最後に村岡さんは「東京オリンピックではパラリンピックにも関心を向けて応援してほしいです。そこには様々な苦悩を乗り越えて懸命に頑張る姿があるからです」と語った。

にもつながるなど様々な相乗効果を図ることができるようになった」と述べ、国内外の旅行者が安心して全国を旅行できるという環境づくりに期待を寄せた。また、ホテル・旅館の直販予約システム「DRS」に登録すると料金比較サイトでの自社HPプランの販売が可能になり手数料経費を約半分に削減することも期待できるとの案内もあった。また楽天(株)から「楽天トラベル」でのシルバースター施設の2017年の実績(「宿泊売上」総額は+8.5%で成長)について述べ、「インバウンド」実績が全体で

+14.0%の成長を見せたと報告。

このほかUBMジャパン(株)から東京ビッグサイトで開催される「スパ&ウエルネスジャパン」(9月10~12日、中村部会長が11日に講演)、(株)フリーキラ製薬より安心・安全の殺菌水「フリーキラS」、「ドクターウォーター」、(株)フジ医療器と(株)第一興商より「ロースタイルマッサージチェア」、(株)インフォライズより「電子決済サービス」(中国の決済アプリ「We Chat Pay」と日本人向けの特典つきスマホ決済の「ORIGAMI Pay」)と「温泉総選挙」などについての案内があった。

第2回全旅連正副会長会議開催 人手不足対策、西日本豪雨への対応などを承認

住宅宿泊事業法対策の中間報告書を作成 常務理事・理事合同研修会で取り組み報告



会議の様子

平成30年度第2回正副会長会議が7月30日、全旅連にて開催された。

【報告事項】

①住宅宿泊事業法対策活動を

まとめた中間報告の冊子を作成。47都道府県のこれまでの対策活動の軌跡をまとめた。8月30日開催の常務理事・理事合同研修会で配布する。②今年度の都道府県組合事務担当者研修会を10月5日に開催し、地震等災害時の旅館ホテルにおける対処、支援について研修を行う。

【協議事項】 ①全旅連、日本旅館協会、日本ホテル協会、全日本シティホテル連盟の宿泊4団体で実施している宿泊業外国人労働者雇用促進協議会の今後の方針について協議した。外国人技能実習制度では、3～5年の実習と技能実習評価試験を実習生に課すが、全旅連はこの試験実施機関を宿泊4団体で設立する方針とした。②宿泊業の人手不足解消の取組みとしてベトナムにて5月、6月と佐藤常任顧問らが視察を行い、7月には多田会長が現地を訪問したが、今後の展開として人材交流事業などを考えていくことについて協議した。協議事項①、②は審議事項となり、承認された。

【審議事項】 ①7月に起きた西日本豪雨による水害に関しての緊急要望として、地域振興支援措置、融資対策、税制・雇用といった3点について翌日7月30日に行う自民党観議連幹部への要望事項、災害救助法適用となった11府県(岐阜、京都、兵庫、鳥取、島根、岡山、広島、山口、愛媛、高知、福岡)への義援金について ②次期参議院議員比例区推薦候補 ③全旅連C→REX 端末機設置促進の企画 ④全国旅



都道府県観議連総会の様子

7月西日本豪雨後の全旅連の活動について



自民党観議連幹部会の様子



要望の様子

平成30年7月西日本豪雨により甚大な災害に対して、全旅連では緊急要望書を作成し、関係省庁・関係議員に対して要望活動を執り行った。

災害救助法適用の府県組合に対して、復興作業で忙しい中キャンセル状況や宿泊客の前年対比について、緊急のアンケート調査にご協力をいただき緊急要望として、被害が甚大な地域への復興と振興を図るため国と県において「復興支援券」の発行をはじめ、金融関係、税制関係、雇用関係、公共料金関係等の要望書を作成し、厚生労働省・観光庁・中小企業庁・自民党観議連幹部議員に対して、被災地域の早急な復興について緊急要望を執り行った。

7月26日細田観議連会長に対し、多田政治連盟理事長、佐藤理事長代理の要望を受け、細田会長より早急に議員連盟の幹部会を開催するとの指示を受け、7月31日に急遽、観議連幹部会が自民党本部にて開催され関係省庁及び業界幹部が出席し被災地の説明と要望を執り行った。

8月7日「平成30年豪雨による風評被害を払拭するための支援」として、観光庁では災害救助法の適用を受けた11府県に対して、①周遊旅行の促進とした宿泊者に対して岡山・広島・愛媛では、一人一泊当たり6,000円その他の府県では4,000円の補助金の交付制度 ②ボランティア活動の促進の補助金制度 ③代替的交通手段の活用による旅行促進等について風評被害防止策といった支援策を迅速に講じた。

館ホテル事業協同組合のETCコーポレートカードおよびオンライン同時通訳サービス「FACE Touch me」の利用促進キャンペーンが諮られ承認された。

正副会長会議終了後には、都道府県観議連総会が全旅連会議室にて開催され、正副会長も参加した。

全旅連委員会開催

人材不足対策・職場環境改善対策委員会



人材不足対策・職場環境改善対策委員会(工藤哲夫委員長)は、6月28日、平成30年度第1回目の委員会を開催した。委員会には、多田会長、齊藤副会長も出席。観光庁観光産業課参事官兼人材政策室長の田村寿浩氏より、新たな外国人材受入れのための在留資格創設に関する説明を受けた。これは、宿泊業四団体で検討している外国人技能実習制度とは別の新たな在留資格制度で、入管法の改正が必要となり、法務省では法案を秋の臨時国会に提出する予定だという。新聞報道では対象となる5業種に宿泊業があげられているが、宿泊業が含まれるかどうかは未定。新聞報道されている宿泊業以外の4業種(建設、造船、農業、介護)については、すでに技能実習制度があり、その延長としての話であり、早ければ来年4月にはスタートできる。宿泊業については、技能実習制度も試験制度もないため、早期実現には相当なスピード感をもって業過一丸となってあたる必要がある。

経営基盤調査研究委員会



7月20日、第2回経営基盤調査研究委員会(宮村耕資委員長)が開催された。日本放送協会(NHK)や、日本著作権協会(JASRAC)の制度への対応や要望の検討がこの委員会の活動になるが、今回はNHKとの懇談を行い、全国的な観光振興とNHKメディアの活用や、増加する訪日外国人客への対応として国際放送NHK WORLDの利点について意見交換を行った。

委員会では、今年度協定商社会の加入数と動向について、6月6日に開催された全旅連全国大会の協賛実績について確認を行った。また、全旅連クレジットカード一括加盟店決済サービス(全旅連C→REX)の利用促進、全国旅館ホテル事業協同組合のETCコーポレートカードの利用促進について内容を確認した。

住宅宿泊事業法対策委員会

7月26日、全旅連会議室にて第2回住宅宿泊事業法対策委員会(大木・井上・坂井担当副会長、桑田委員長)を開催した。会議の前半は、厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課 竹林経治課長、観光庁観光産業課 鈴木貴典課長を招いて、多田会長、大木副会長、桑田委員長、西村青年部長と「住宅宿泊事業法が施行されて」をテーマに座談会を行った。議題は①民泊新法はなぜ必要だったか、②民泊新法が旅館・ホテル業界に与える影響、③今後起こり得る問題とその解決策、④旅館業界から行政へ一言、の4つで、住宅宿泊事業法施行後の思いをお互いに語り合った。詳細については、8月下旬に発行予定の冊子「住宅宿泊事業法中間報告」に掲載する。

会議の後半では、佐藤常任顧問を交えて、8月下旬に発行する冊子「住宅宿泊事業法中間報告 住宅宿泊事業法の施行までの活動」の内容について議論し、最終的なタイトルやページ構成についての承認を得た。「47都道府県組合の活動報告」と「厚生労働省・観光庁を交えての座談会」が主な内容で、これまでの活動を振り返りつつ、今後の活動の方向性を示唆するような内容となっている。8月30日の全旅連常務理事・理事合同研修会にて47都道府県理事長に当冊子の完成を報告する。当冊子は16,500部発行し、都道府県組合を通して全組合員に配布する。



<インバウンド対応>おかげさまで大好評!

訪日外国人向け自国通貨建て



クレジット決済「DCCサービス」

全旅連カード決済サービスC→REXでは、2016年10月にリリースされた新端末に「訪日外国人向け自国通貨建てクレジット決済(DCC)」が実装され、好評を博している。DCCでは、お客様は支払いを自国通貨建てで決済することができ、宿泊施設としても自国通貨建ての決済を為替変動を気にすることなく実現でき、また手数料が0.5%安くなる(2.58%→2.08%)。このように双方にメリットがあるため、利用する宿泊施設が増えている。

全旅連C→REX端末機については

詳しくは右記のHPで閲覧できます。URL: <https://www.jtb-jbi.co.jp/crex/>
宿ネットからも閲覧できます。URL: <http://www.yadonet.ne.jp/info/member/debit/index.html>

お申込・
お問い合わせは



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会
TEL.03-3263-4428

女性経営者の会(JKK)が定例会議で2つの講演実施 「強い組織」や「持続可能性」などについて語る

「主体的に動く社員の育成を」と二ノ丸氏 樋口氏は「新しい料理に挑戦したい」



二ノ丸氏の講演(左)と樋口氏の講演

講師の二ノ丸(上)、
樋口(右)の両氏

全旅連女性経営者の会(JKK、松崎久美子会長)は7月11、12の両日、三重県鳥羽市と志摩市で定例会議を開き、2つの講演会と事例発表会を行った。11日には鳥羽市の鳥羽ビューホテル花真珠で、日本ラグビーフットボール協会のリソースコーチで、現在、高校やクラブチームで指導をする傍ら、企業内人材育成研修(コーチングの授業)などを行っている二ノ丸友幸氏(Work Life Brand代表)を招いて行われた。これはJKKの宿の労働環境改善委員会が「一つの会社をチームとしてやっていくにはどうしたらよいか」という切り口で企画したもの。

二ノ丸氏は「強い組織に不可欠なものとは～労働環境の改善は未来を担う人材育成～」をテーマに講演し、「仲間、従業員を引っばるリーダーシップと部下を支えるフォロワーシップが共存する中で、主体的な行動ができる人材が育つ環境をつくるのが重要である」と述べ、「その人材とは、与えられた指示、アドバイス等をやるという自主的ではなく、自分が設定した目標を達成するために、自分が置かれている立場とか持場で今何をすべきかに気づいて行動する人間であり、それを実現させる

には、全てを示す、教えるという『ティーチング』や、暗示的、全部を言わないという『コーチング』が必要」とした。

12日は志摩観光ホテルで、2年前行われたサミットで料理を担当した同ホテルの総料理長で、2017年に農林水産省料理人顕彰制度「料理マスターズ」ブロンズ賞の女性初の受賞者、樋口宏江氏による講演。テーマは「持続可能性 日本の食材、フランス料理技法との融合」。

樋口氏は、「豊かな山海の恵みとともに、神にささげた供物を人が頂くという『神人共食』といった歴史と食文化を今に継承しているが、それはその土地で獲れる食材を大切に受け入れるということ、そして料理づくりだけでなく、そうした食材をいかにして育てていくかということにも通じている」と述べ、「資源を守るために、あわび、伊勢エビは小さいものは獲らず、禁漁期間を決めるなど自分たちで厳しいルールを設けることで、未来につなげていく。これからは料理人も、生産者も『資源の持続可能性』について考えていかなくてはならない時代である」と語っている。

また、樋口氏は「日本の食材を使って、フランス料理技法で料理を作っているが、たくさんの伝統料理もある。この伝統を踏まえて、これからも新しい食材にも取り組み、独創的着想をもって、挑戦していきたい」と述べている。

事例発表では、JKKの宿の労働環境改善委員で、定例会議の会場となった鳥羽ビューホテル花真珠の女将・迫間優子氏が2年前に人手不足問題に陥った際に、仲居の労働時間は夜のみにする、休暇は月8回で、そのうちの1回は土・日とした制度など、新しく取組んだ改善策によって、苦境を乗り越え、昨年と今年で10人を超す正社員を採用できたという事例を発表した。

大口・多頻度割引制度のご案内 知って得する便利なETCコーポレートカード

大口・多頻度割引制度とは、ETCシステムの利用を前提とした東日本高速道路(株)、中日本高速道路及び西日本高速道路(株)等が指定する割引対象道路を利用したときの通行料金の割引制度です。

旅館業を行う事業者は、東日本高速道路株式会社と契約している全国旅館ホテル事業協同組合の組合員となることで、ETCコーポレートカードが貸与され大口・多頻度割引制度をご利用いただくことができます。

<平成30年4月1日以降の車両単位割引率>

車両単位割引=登録車両1台(カード1枚)ごとの月間利用額に対する割引率

自動車1台ごとの1ヶ月の高速国道のご利用額	割引率
5千円を超え1万円までの部分	5%
1万円を超え3万円までの部分	10%
3万円を超える部分	15%

<問合せ先>全国旅館ホテル事業協同組合

TEL.03-3263-4428 FAX.03-3263-9789

※全国旅館ホテル事業協同組合の概要及び組合加入申込書(PDFファイル)は「宿ネット」(<http://www.yadonet.ne.jp/info/member/>)からもプリントアウトできます。

宿泊施設の、宿泊施設による、宿泊施設のための

予約・販売管理システム

TL-Link

TL-リンク

旅行会社とネット販売を一元管理!

旅行会社とネット販売の
予約・販売・残室管理を1つに集約

ASP化により
複数の担当者の同時利用が可能

PMSへの入力・修正の負荷を、
カスタマイズ機能により大幅に削減

統計実績データをボタン1つで
集計・分析、営業力が強化

☎ ユーザー支援強化中!!

- ユーザーのお声をもとに、毎月機能増強を行っています!
- 操作フォローや勉強会を実施、導入後も支援します!

お申込み・
お問合せは

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-12-7
電話: 03-6835-8410 (代) FAX: 03-5476-8898
<http://www.seanuts.co.jp/> ショーアップで検索

第21回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介

選考委員会賞

原鶴温泉旅館協同組合

「平成29年九州北部豪雨水害 被災者、断水家庭、ボランティアへの入浴提供」

九州北部豪雨で宿泊キャンセル（7月17日時点で延べ約8,200人にも上った）が相次ぎ、苦境に立たされた原鶴温泉（福岡県朝倉市、井上善博組合長）の宿泊施設だが生活用水の原鶴では断水の影響はなく、温泉の湧出等にも問題はなかったことから、原鶴温泉旅館協同組合では緊急理事会を招集し、当面の間、原鶴温泉の無料開放を決め、被災者、断水家族、ボランティアへの入浴提供に努めた。

「今は地元の集いの場という役割を果たすだけだ」と、連日その対応に当たり、開放の場は避難者にとってお互いの近況を報告し合ったり、情報の交換をするなど貴重なコミュニケーションの場となった。また旅館の皆さんからは「心の安定を育む手伝いができた」「宿泊客がゼロの日もあるが、『ありがとう』『助かった』という被災者の言葉が支えになった」との声も聞かれた。

開放に当たっては、玄関先に靴についた泥を落とすための洗い場を設けたりしながら、一般客の受入になるべく支障をきたさないように、昼と夕方に入浴時間を分けたチケット制を導入するなどの工夫もした。また被災者のためにと各方面から贈られた衣類や下着、日用品などの援助品の配布も行い、家を流された人や着の身着のまま避難した人には大変喜ばれた。

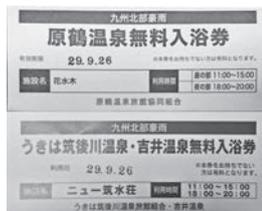
こうしたスムーズな対応は、福岡県と福岡県旅館ホテル組合が、県内の旅館やホテルを避難所として円滑に利用できるように協定を結んだ事にも関係している。日ごろの災害への心構えの大切さを改めて痛感した。

井上組合長は「立ち直る第一歩」と喜び「被災者を中心に必要な人がいる限り、続けたい」と語る。温泉解放期間は7月から12月までとなり、その利用者は延べで24,881人となった。



▲福岡県と福岡県旅館ホテル組合の「災害時の協力協定締結式」の様子

衣類（寄贈品）はハンガーに掛けるなど旅館らしい気遣いで対応した▶



▲無料入浴券には、利用日、施設名、利用時間が明記されている



観光経済新聞社社長賞

芦原温泉旅館協同組合女性部 女将の会

「純米吟醸酒『女将』おもてなしの心を形に・・・」

芦原温泉旅館協同組合女性部 女将の会（福岡県あわら市、山口由紀会長）のメンバー 14人全員が「今後は食とともに地酒のアピールもしていきたい」と、「日本酒のソムリエ」とも称される「きき酒師」の資格を取得した。次に、北陸新幹線の金沢までの延伸、九頭竜川下流域パイプラインの完成によって得られた良質米の生産環境が向上したこともあって、あわら温泉を訪れるお客さまを女将の思いを込めたお酒でもてなそうと、女将ら自らの手による純米吟醸酒を誕生させた。それは、田植えや稲刈り、ネーミングや瓶のデザイン、お酒の味など、酒米の生産者や酒造メーカーと一体となった「女将のお酒プロジェクト」によって造られた。こうして、たくさんの人たちの手と大地の力で生まれたわが子のような大切なお酒には感動も込めて「女将」と命名。「女将」の題字は、大本山永平寺の食の責任者である三好典座老師に揮毫してもらった。

平成27年3月には2,000本の甘口「女将」をお披露目した。熟したリンゴのような甘酸っぱい香りで、スッキリした後口になっている上に女性にも飲みやすいように、アルコール度数も低めにしている。翌年には辛口も仕込み、甘口辛口合わせて4,000本を造醸。辛口はグレープフルーツのような香り。涼やか風がふくような清涼感がいい。安倍首相にも贈呈し、女将の頑張りを評価してもらった。その後も酒造りは順調に進行。量産することはせず、あわら温泉でしか飲めない、買えない限定感をもって各女将がおもてなしの心を形にしている。

今年は「女将」の酒粕の活用も具体化し、食品加工メーカーとの提携も実現して女将会認定商品の「黒瓜の粕漬け」を販売開始し、ともに相乗効果を求め、あわら温泉の更なる魅力発信を目指していく。



▲女将の会のみなさん



▲毎年6月に女将の会のメンバーが田植えを行う



酒造りの行程にも女将の会のメンバーが携わっている▶

全旅連会議開催

[7月]

- 4日(水)
 - 全旅連総務会
- 11日(水)
 - 全旅連青年部常任理事会 他
於：グランディア芳泉(福井県あわら市)
 - 全旅連女性経営者の会(JKK)定例会議
於：11日 鳥羽ビューホテル花真珠(三重県鳥羽市)
12日 志摩観光ホテル(三重県志摩市)
- 20日(金)
 - 全旅連経営基盤調査研究委員会
- 26日(木)
 - 全旅連住宅宿泊事業法対策委員会
- 30日(月)
 - 全旅連総務会
 - 第2回全旅連正副会長会議

[8月]

- 2日(木)
 - 全旅連シルバースター部会幹部会
於：ホテル小柳(新潟県湯田上温泉)
- 22日(水)
 - 全旅連小規模施設活性化委員会
- 23日(木)
 - 全旅連総務会
- 29日(水)
 - 第3回全旅連正副会長会議
- 30日(木)
 - 全旅連常務理事・理事合同研修会
於：都道府県会館(東京都千代田区)

今後の予定

- 9月10日(月)、11日(火)、12日(水)
第9回スパ&ウエルネス ジャパン2018(全旅連協賛)
主催：UBM ジャパン株式会社
専門セミナー(9月11日・13:10~14:10)
テーマ：「高齢者、訪日客が増える新市場にどう順応するか」
講師：中村実彦シルバースター部会長
於：東京ビッグサイト(東京都江東区)
- 10月5日(金) 都道府県組合事務担当者研修会
於：都道府県会館(東京都千代田区)

自社HPからの集客対策も ご相談ください!

まずはお気軽にお問い合わせください

☎ 045-227-6505

🔍 やどけん

九州支社
(福岡)

関西支社
(大阪)

東北支社
(仙台)

本社
(横浜)

全国に4拠点、お気軽にご相談ください

株式会社宿泊予約経営研究所

<本社>〒220-8120
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー20F
TEL:045-227-6505 FAX:045-227-6507

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

「後継者のイロハのイ」

後継者と話す機会がかなり多くある。そこで、やるべきイロハのイを簡単に列挙してみた。

「過去分析」

会社の決算書を全部ひっくりかえして見る。損益計算書からは売上・利益・減価償却・税金を拾う。貸借対照表からは総資産・借入金、自己資本などを拾い、追加で記入できるように空欄も作成する。さらに事業報告書があれば、時代背景やトピックスも箇条書きにまとめる。粗利や自己資本比率など、業界でよく使われる比較比率も入れる。さらに社員数、申告書の事業概況書に決算末の人数が記載されているのでここから一人当たりの売上や利益なども計算できる。1~2枚にまとめていつでも見れるようにする。

「ヒアリング」

この過去分析をもとに先代から過去の事実を聞いてゆく。先輩社員や退職した幹部などにも聞き取りができるとなおよい。特に失敗したことを詳しく把握する。会社の過去を重層的につかみたい。

「現状分析」

過去3期分の決算書を基にSWOT分析など経営コンサルタントになったつもりで自社を分析してみる。勿論、顧問会計事務所や経理の力を借りる。

- 1 直近の貸借対照表の検討。決算書の資産は取得価額で計上されており、会社の財産状態を正しく評価していないので、不動産や有価証券を時価評価してみる。また売掛金の回収可能性や在庫の処分可能性も把握し不良売掛や在庫がないか確認する。
- 2 損益計算書も、売掛金や在庫の適正評価で修正する。
- 3 同業他社の数値を信用調査機関などから入手して比較検討する。

「顧客に聞く」

とにかく最前線に行く。

- 1 クレームはビックチャンス。顧客の本音を掴むこと。逃げてはいけない。
- 2 送客業者や仕入れ先などにも足を運ぶ。
- 3 業界の会議やセミナーも可能な限り出席する。

「経営計画書」

会社の「過去」と「現在」を把握し、「将来」を描く。将来の幹部候補やいろいろな方の力を借りながら経営計画を作成する。5か年計画は必要。常に修正する。

質問・相談は

watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

お知らせ

平成30年7月2日、堀口眞利栃木県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長(ホテル山月)がご逝去されました。平成17年6月より13年間の永きに亘り栃木県組合理事長および全旅連常務理事を務められました。なお、栃木県旅館ホテル組合では、現在、君島則夫氏が理事長代行の任に就いております。

全旅連協定商社会 名簿

協 賛	(株) トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F 営業企画部 廣重 隆	TEL 03-6891-7200 FAX 03-6686-1039
	ソニー生命保険 (株)	生命保険コンサルティング他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
	あいおいニッセイ同和損害保険 (株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 専業・マーケット開発部 市場開発室 担当次長 橋本博史	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
	丸八真綿グループ (株) マルハチプロ	丸八真綿寝具販売他	〒321-0982 栃木県 宇都宮市 御幸ヶ原町81-7 (株) 東日本丸八真綿 宇都宮支店内営業部 副課長 玉木信安	TEL 028-663-6166 FAX 028-663-6238
	サントリーフーズ (株)	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	(東日本担当) 〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン11F サントリー・ビバレッジソリューション (株) 首都圏法人営業部 法人営業1課 吉原 修 (西日本担当) 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F サントリーコーポレートビジネス (株) 西部支社 法人営業部 部長代理 桑田美仁	TEL 03-3275-7722 FAX 03-3275-5208 TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
	(株) リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらんnet等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 事業推進部 営業推進グループ 酒井 宏明	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784
	(株) セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
	ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 法人営業部法人営業推進課 全旅連担当顧問 田崎裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-4570-5668
	(株) 第一興商	カラオケ機器 (DAM) 音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 エリアマネージャー 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862
	(株) コジマ	家電製品全般	〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-28-13 池袋西口共同ビル8階 営業本部営業部 法人営業室 主任 原 智一	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
	(株) エクシング	カラオケ機器販売 (JOYSOUND, UGA) 音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 営業本部 直販営業部 担当副部長 近藤美佐雄	TEL 0120-141-224 FAX 03-6848-8186
	東京海上日動火災保険 (株)	旅館賠償責任保険	〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 旅行業営業部 営業第一課 副主任 米永有希	TEL 03-5537-3491 FAX 03-5537-3471
	AIG 損害保険 (株)	組合員向各種損害保険	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル6F 市場開発部 開発営業課 二宮朋基	TEL 03-6848-8834 FAX 03-6689-2025
	楽天 (株)	予約サイト楽天トラベル等	〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス トラベル事業 国内営業部 チェーンホテルグループ マネージャー 永富文彦	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
	(株) 宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
	(株) シーナッツ	予約・販売管理システム TL-リンカーン	〒108-0023 東京都港区芝浦3-12-7 住友不動産田町ビル4階 システムソリューション本部 営業G企画チーム 小川奈々絵	TEL 03-6835-8420 FAX 03-5476-8898
	(株) JTB (るるぶトラベル)	宿泊予約サイト るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル17階 Web販売部 販売担当部長 須藤 淳	TEL 03-5796-5675 FAX 03-5796-5863
	ヤフー (株)	「Yahoo!トラベル」による 集客支援提案	〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー 予約統括本部 営業本部 トラベル営業部 森 浩一	TEL 03-6898-3466 FAX 03-6685-0080
	(株) KNT-CT ウェブトラベル	宿泊予約サービス e宿(いーやど)	〒163-0235 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル35F 宿泊企画部 課長 恩田 司	TEL 03-6864-4693 FAX 03-6864-4700
	(株) JTB ビジネスインベーターズ	クラウド型業務システム、自社HP予約決済システム、外貨取扱支援など	〒108-0075 東京都港区港南1-6-31 品川東急ビル7階 営業推進部 山村大樹	TEL 03-5796-5649 FAX 03-5796-5690
	(株) ネクシィーズ	LED照明、業務用冷蔵庫、空調などの省エネ商材のレンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシィーズスクエアビル サービス企画課業務推進係 井場裕紀	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307
	(株) エス・ワイ・エス	自社HP予約エンジン「OPTIMA」 宿泊料金比較サイト連携サービス「DRS」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2丸曜ビル3F DMO・地方創生推進室 鳥澤靖史	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071
	(株) Ctrip International Travel Japan	中国インバウンド予約サイト「Ctrip」	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル9階 ホテル事業部 翟 峰 (サイ ホウ)	TEL 03-6262-7666 FAX 03-6262-7667
	日本テクノ (株)	高圧電気設備保安管理・点検 電気料金削減コンサルタント	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51階 営業推進部 MC・東日本営業課 係長 相川 淳	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379
	(株) エスコ	省エネ設備機器等補助金申請代行コンサルティング	〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー12F ソリューション営業部 係長 小野寺雄士	TEL 03-5332-3166 FAX 03-5332-3512
	(株) パラダイムシフト	オールインワン業務支援ソフト「レップチェッカー」	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-3-6 パラダイムシフトビル 営業部 部長 古瀬路里	TEL 03-5825-9970 FAX 03-5825-9971
(株) アビリティコンサルタント	WEBサイト制作、自社HP予約エンジン「予約プロプラス」	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-35-3 コープオリンピア7F 常務取締役 WEB事業統括本部 本部長 水野真寿	TEL 03-6712-6018 FAX 03-6712-6019	
住友林業 (株)	旅館・ホテルリフォーム 新築、造園	100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 住宅・建築事業本部 市場開発部 副部長 藤山裕之	TEL 03-3214-3860 FAX 03-3214-3861	
(株) ミツウロコヴェッセル	高圧電気、動力(低圧)電気、従量電灯電気の販売	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 電力マーケティング部 担当課長 石井万正	TEL 03-3275-6316 FAX 03-3275-6354	
(株) かんざし	OTAプラン作成等一括管理「かんざしクラウド」 OTA「ちこみ」一括管理「ちこみクラウド」	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-10-15 川名ビル5F 経営企画室 今井 理雄	TEL 03-6418-7774 FAX 03-6418-7772	
推 奨	三菱電機ビルテクノサービス (株)	エレベーター設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 首都圏第一支社 業務部 参事 倉場和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
	(株) フジ医療器	マッサージチェア	〒108-0023 東京都港区芝浦3-2-16 田町イーストビル1F 商経営部 企業担当ユニット 鈴木哲治	TEL 03-3769-6600 FAX 03-3769-6601